

船舶事故調査報告書

平成22年3月11日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山本 哲 也

委員 根本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年1月27日11時30分ごろ無人の本船が発見された。）
発生場所	不明（大分県佐伯市鶴御埼東方2海里（M）付近（概位 北緯32°55.8′ 東経132°07.4′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年2月4日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 好洋丸、3.3トン OT3-42732（漁船登録番号）、個人所有 8.77m(Lr)×2.15m×0.80m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数60、昭和51年10月3日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和50年8月12日 免許証交付日 平成17年7月8日 (平成23年3月13日まで有効)
死傷者等	死亡（死亡認定により除籍） 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年1月27日08時00分ごろ、船長1人が乗り組み、はえ縄漁の目的で、大分県大島漁港を出港し、11時30分ごろ、鶴御埼東方2M付近において、操業中の漁船により無人で漂流している本船が発見された。 船長は、行方不明となっていたが、後日、死亡認定により除籍された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2 海象：平穏
その他の事項	本船は、通常、佐伯市大島と先ノ瀬との間の海域で操業していた。 本船発見時、機関は中立運転で、右舷船首部に設置されたラインローラーがはえ縄を巻き付けていない状態で回転していた。 はえ縄は、幹縄が長さ約1,000mで、約50mが途中で切れた状態でラインローラーの下に揚がっており、プロペラに幹縄や枝縄の一部が絡んでいた。また、先ノ瀬の西方1km付近で、浮子や錨等が付いた残りのはえ縄が発見された。 操舵室に救命胴衣が残されていた。

分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 なし なし 船長は、行方不明となっていたが、死亡認定された。 本船は、大島東方沖において揚縄中、船長が、救命胴衣を着用せずに落水した可能性があると考えられる。 船長が落水した状況については、明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が、大島東方沖において揚縄中、船長が救命胴衣を着用せずに落水したため、発生した可能性があると考えられる。	